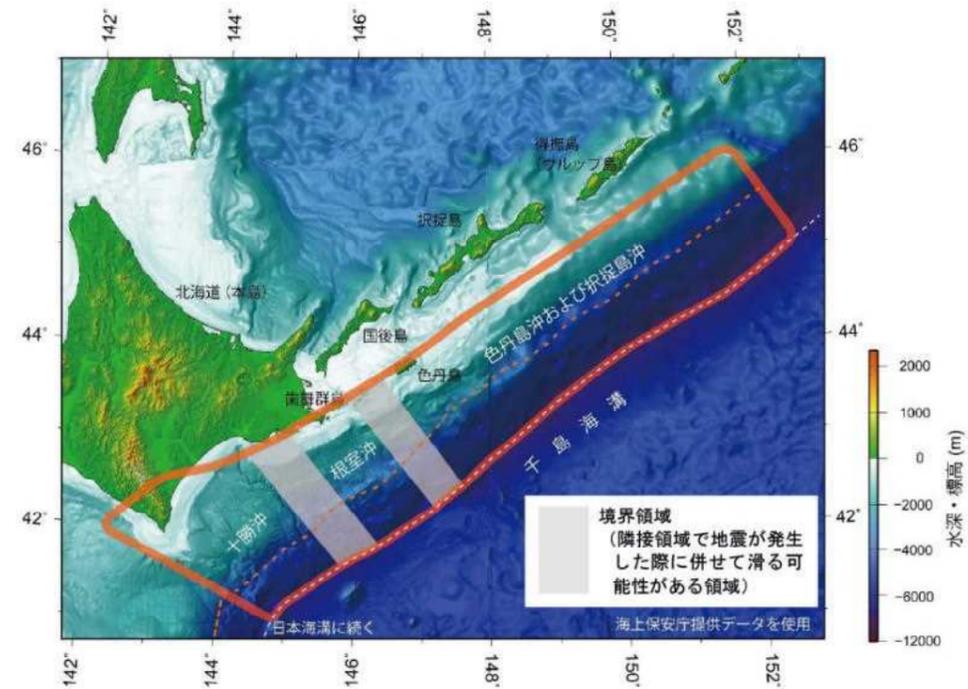




## 羅臼町防災訓練の日 ShakeOut(シェイクアウト)の取り組み

羅臼町防災の日に併せて全町でおこなう避難訓練に本校も参加しました。  
本年度はすでに火災を原因とする避難訓練を4月23日(金)6hに実施していますが、本日はシェイクアウト訓練(地震から身を守る)を3校時冒頭でおこないました。  
根室沖(千島海溝沿い)を震源とする地震の規模M7.5~8.5程度の地震発生確率は、30年以内に80%程度とされています。海沿いに街区が広がる羅臼町民にとっては、十分な覚悟と準備(想定した訓練)が必要です。



将来の地震発生の可能性  
【地震の規模】  
M7.5~8.5程度  
【地震発生確率】  
30年以内に、80%程度  
【地震後経過率】  
0.73  
【平均活動間隔】  
65.1年  
【最新発生時期】  
1973年6月17日  
(根室半島沖地震)  
文部科学省研究開発局地震・防災研究課より

令和3年6月8日

令和3年度 北海道羅臼高等学校 シェイクアウト実施計画

防災委員会

- 1 目的  
地震を想定して参加者が一斉に行動する訓練型の形式を行うことによって災害発生時の避難訓練を冷静に行動することを身につけさせ、防災に対する生徒・教職員の意識を向上させる。  
※ 令和2年度北海道シェイクアウト、日本シェイクアウトへの参加
- 2 日時  
令和3年6月9日(水)【羅臼町防災訓練の日】10:45~10:55(3校時)
- 3 訓練内容  
地震を想定した シェイクアウト訓練
- 4 訓練の想定  
(1) 令和3年6月9日(水)10時45分頃(チャイム後、放送にて指示)  
(2) 地震の規模、マグニチュード9.0以上の大規模な地震が発生  
北海道全域に大きな揺れを感じる。沿岸部には大津波警報が発生した。(想定)
- 5 実施時程【放送指示:教頭】  
10:45 地震発生(緊急地震速報)→シェイクアウト訓練(机下にて耐震態勢をとる)  
※シェイクアウト:姿勢を低く、頭を守り、動かない体勢(約1分間)  
各学年の様子を観察:1学年 丸子先生、2学年 福島先生、3学年 岩崎先生  
【放送設備の確認、生徒の様子を観察等】
- 6 シェイクアウト訓練について  
[ShakeOut(シェイクアウト)]は2008年、防災関係者らの発案でスタートした米国最大の防災訓練。  
日本では全国シェイクアウト(機関)が1923年(大正12年)9月1日に起こった関東大震災の教訓から「防災の日」が制定され、全国各地の団体、組織、学校等が9月1日の午前10時に合わせて一斉に訓練を行っている。



机の下に入ることが目的ではないのです。  
地震の揺れで転倒しないように「低い姿勢となる」  
天井や壁からの落下物から身体(頭部)を守るため「机などの下に潜りこむ」  
なので、「これで良い」です!

★シェイクアウトとは  
地震による揺れを感じたら約1分間、身を守る方法として、「姿勢を低く」  
「頭を守り」「動かない体勢」の基本行動を実施するものです。

